

この取扱説明書は、顔認証システムに保存された履歴および登録ユーザーの情報を閲覧するソフトウェア「F-Log converter ver 1.x」に関する取扱説明を明記したものです。ダウンロードされたソフトウェアのバージョンにより、取り扱い方法が異なるのでご注意ください。

ソフトウェアは、接続されるパソコンや周辺機器類、OS の最新リリースやバージョンアップに対応できるように、都度バージョンアップをおこなっております。皆様が常に最新版をご利用いただけるよう、弊社ではデジタル媒体での配布をおこなっておりません。

ソフトウェアのバージョンおよび対応 OS は、ダウンロードページに記載されていますので、ダウンロードの際にお使いのパソコンに該当するかどうか随時ご確認ください。

### ご利用前に合意いただきたい事項

#### ●ソフトウェアの使用について

本ソフトウェアは互換を確認した OS に対し、十分に動作を確認したうえで一般的な障害や動作上の不具合が発生しないことを確認して提供させていただいておりますが、本ソフトウェアを使用することによる OS の不具合、他のソフトウェアとの共存による不具合やデータの消失等が生じないことを保証するものではありません。

従って弊社ソフトウェアのご使用により、利用者に直接的または間接的障害が生じても、弊社は一切の賠償の責を含む、いかなる責も負わないものとさせていただきます。

#### ●転載・複製について

本取扱説明書ならびにソフトウェアの著作権は株式会社エーコーにあります。取扱説明書やプログラムの全部または一部の内容を無断で複製すること、譲渡・貸与・移転等の方法で第三者に使用させること、プログラムの改造や解析（リバースエンジニアリング）はすべて禁止させていただきます。

上記禁止行為をおこなったことが確認された場合には、著作権法に基づき対処させていただきます。

+++++  
 弊社ソフトウェアのご使用にあたっては、上記内容を十分ご理解いただいたうえで、合意を得たものとさせていただきます。



**ご注意** 取扱説明書内の図（挿絵）は参考です。アイコン、ウィンドウデザイン、ダイアログデザイン、各種構成等はご利用の OS、パソコン環境により異なります。

## ご利用いただく前に

### ■製品について

本取扱説明書は、顔認証モデル FIDS 用です。

### ■ソフトウェアについて

顔認証金庫 履歴閲覧用ソフトウェア F-Log converter ver2.x (x 部分はソフトウェアによって異なる数字となっております。)は、Windows Vista・Windows 7・Windows 10 を対象として提供しています。その他の OS では動作いたしませんのでダウンロードページをご参照のうえ、お手持ちの PC に搭載された OS を確認して OS に合ったバージョンをご利用ください。

### ■ご用意いただくもの

- ① USB メモリー (USB2.0/1.1 対応および USB1.1 対応)
  - ② 取扱説明書 (本書)
  - ③ F-Log converter ver 2.x (ソフトウェア)
- ※ソフトウェア本体は、次よりダウンロードしてください。  
<https://www.lion-jimuki.co.jp/download/index.html>

### ■F-Log converter ver 2.x (ソフトウェア) ができること

- ① 履歴の閲覧
- ② 登録されているユーザーの表示

#### ⚠ ご注意

ソフトウェア動作する環境は、Windows を OS とする PC/AT 互換機および NEC98 シリーズとなります。

本製品に USB メモリーは付属しておりません。ご自身でお買い求めください。ご利用いただける USB メモリーは

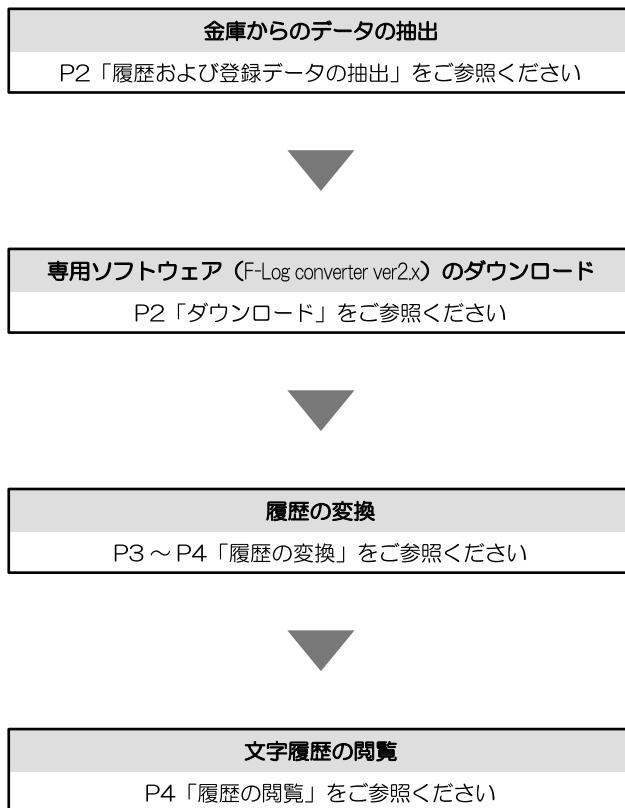
#### USB2.0/1.1 対応および USB1.1 対応

の製品となります。このスペック以外の USB メモリーはご利用になれませんので、ご購入に際し十分にご確認ください。

※USB には 1GB 以上の空き領域が必要です。  
 ※USB1.1 をサポートしていない USB2.0 対応メモリーは利用できません。

## 利用手順

履歴表示ソフトウェアのご利用の手順は以下のとおりです。

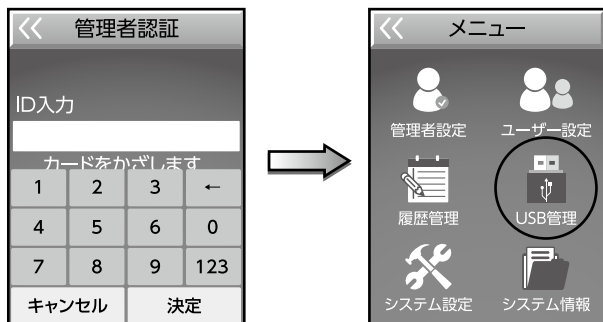


## 履歴および登録データの抽出

この作業は、お買い上げいただいた金庫に搭載された顔認証システムでの操作となります。以下の手順で顔認証システムから履歴および登録データを抽出してください。

以下の操作説明は、金庫に備え付けの「取扱説明書」にも記載されています。

- 1 金庫取扱説明書「■データの出力とバックアップ」の項目を参照して、管理者顔認証モードでシステムを起動し、「USB 管理」を押してください。

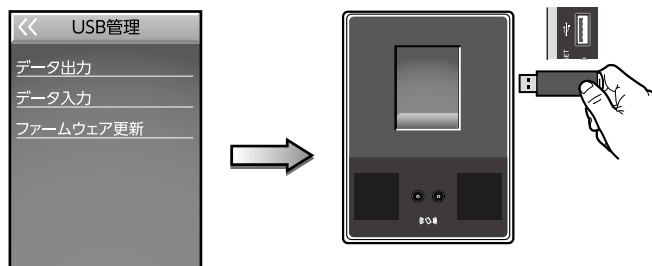


## 2 USB の挿入

※出力しても、システム内のデータは消えません。

画面内「データ出力」を押し、画面の指示に従ってお手持ちの USB を挿入してください。

※重要  
USB 挿入後、認識まで数秒かかります。即時反応しないからと USB を抜き差ししないようご注意ください。

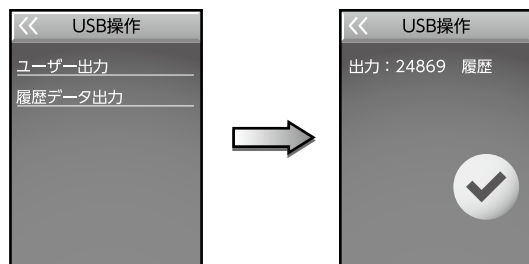


## 3 履歴データの抽出

※出力しても、システム内のデータは消えません。

「履歴データ出力」を押して下さい。履歴データが USB へコピーされ、正常に終了すると「出力：xxxx 履歴」の画面に切り替わります。

画面左上「<<」を押して起動画面まで戻し、USB を抜いてください。



### 抽出するデータについて

履歴データと同じ手順で登録ユーザーのデータも抽出できます。登録ユーザーのデータを出力したい場合は、ユーザー出力を選択してください。

## ダウンロード

履歴表示ソフトウェアは、ホームページ内に用意されています。インターネット環境があるパソコンから弊社ホームページへアクセスして、手順に従いダウンロードしてください。

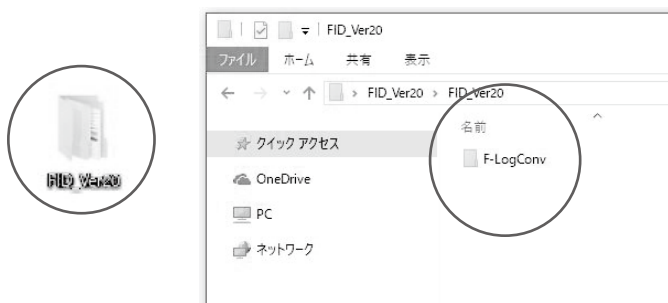


正常にダウンロードが完了すると FID\_Ver2x という Zip 形式の圧縮ファイルが用意されます。解凍ソフトを用いて解凍作業をおこなってください。

※ダウンロードされる Zip ファイルは自己解凍式ではありません。

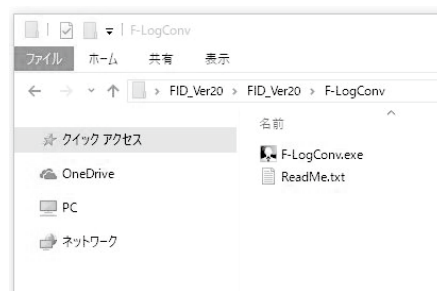
### 必ず解凍作業をおこなってください。

セキュリティの観点から、自己解凍式 (exe ファイル) での提供は実施していません。必ず、解凍ソフトを用いてファイルを解凍してからインストール作業をおこなってください。解凍せずに作業をおこなうと、インストールが正常におこなわれない、または、ソフトウェアを正常に運用できないことがあります。※解凍ソフトはご自身でご用意ください。



正常に解凍がおこなわれると左上図のようなフォルダーが作成されます。このフォルダーをダブルクリック (または右クリック→開く) でフォルダーの中身を表示してください。

フォルダーを開くと F-LogConv のフォルダーが展開されます。※ファイル数・ファイル名はバージョンによって異なります。



F-LogConv フォルダーをダブルクリック (または右クリック→開く) でフォルダーの中身を表示してください。

フォルダーを開くと F-LogConv ファイルが展開されます。※ファイル数・ファイル名はバージョンによって異なります。

### ReadMe ファイルについて

ReadMe ファイルは、ダウンロードいただいたソフトウェアのバージョンや簡易取扱説明が書かれたテキストです。必ずお読みになってください。

## ファイル実行の際に警告が出た場合

お使いの OS によっては、ダウンロードファイルを解凍し、F-LogConv を開こうとすると下のような警告が出る場合があります。



### ⚠ Windows Defender 警告表示

一部の exe ファイルを実行しようとした場合、Windows Defender が警告を発することがあります。

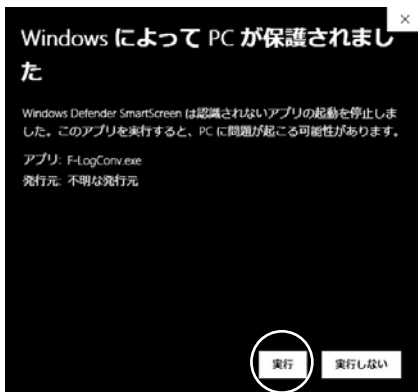
F-LogConv はパソコンにインストールしてご利用いただくアプリケーションではありません。警告が出て安心してご利用ください。

警告が出た場合、以下の手順で F-LogConv を実行してください。

- ① 詳細情報部をクリックします。



- ② 警告下部に 実行 が表示されます。アプリ名を確認し、F-LogConv.exe であることを確認してから「実行」をクリックして F-LogConv を実行してください。

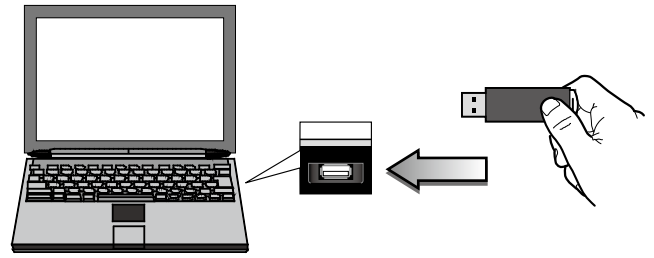


### ⚠ ウィルス監視アプリケーション

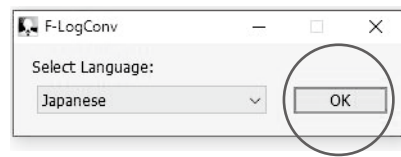
Windows Defender 以外にもウイルス監視ソフトが同様の警告を発する場合があります。この場合も同様に実行してください。  
※警告を発したアプリ名を必ずご確認ください。

## 履歴の変換

- ① ②ページ内「履歴の抽出」で FIDS から履歴データ(データ)を抽出した USB をパソコンに接続してください。  
※USB メモリーの接続については、お手持ちのパソコンの取扱説明書をご確認ください。



- ② ②ページ「ダウンロード」でパソコン内に保存された F-LogConv をダブルクリックすると、言語選択のダイアログが表示されます。「Japanese」を選択して「OK」をクリックしてください。



- ③ 最上部の「履歴ファイル出力」欄にある参照をクリックしてください。



エクスプローラーダイアログから「USB ドライブ」内に下図のように USB メモリーに保存されたテキストドキュメントが表示されます。「TIME xxxx」を選択してダイアログ右下にある「開く」をクリックしてください。

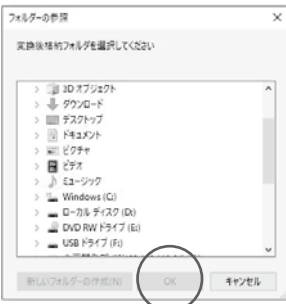


次ページへ続く

### ⚠ テキストファイルについて

顔認証システムによって生成されるテキストファイルは「TIME xxxx」(履歴データ)、「USER xxxx」(登録データ)の2種類です。いずれのファイルも Windows に標準搭載されているワードパッドやメモ帳で内部を開覧、書き換えが可能ですが、内部のデータを書き換えた場合は、上記作業で正常に表示できなくなりますのでご注意ください。

4 続けて、2段目の「変換後格納フォルダ」欄にある参照をクリックしてください。

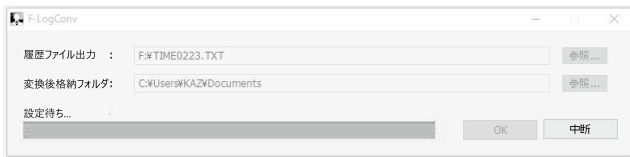


「フォルダの参照」ダイアログが開きます。  
履歴データを保管したい場所を選んでOKをクリックしてください。

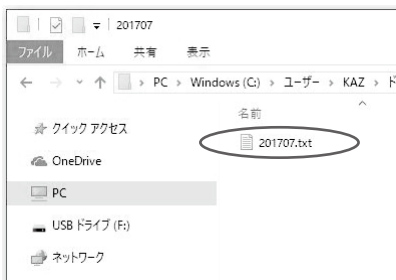
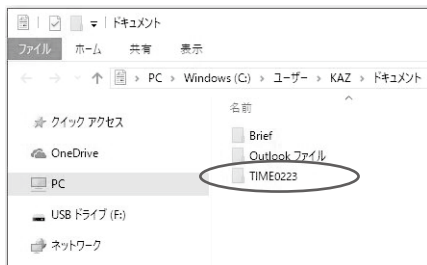
5 F-LogConv のダイアログ内の「変換後格納フォルダ」欄に選択された保管場所が表示されていることを確認して OK をクリックしてください。自動で変換がおこなわれます。

正常に変換が完了すると「履歴データの変換が終了しました。」のダイアログが表示されます。OK をクリックしてダイアログを閉じてください。

※F-LogConv ダイアログも同時に閉じられます。



6 保存場所に「TIME xxxx」のフォルダが生成され、その配下にテキストデータがあることを確認してください。

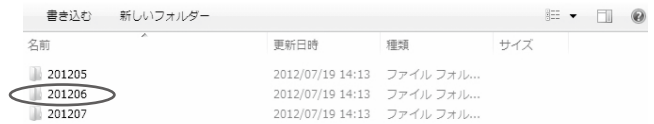


### ⚠️ フォルダ名について

生成されるフォルダ名は、USB メモリーに保存されていたテキストファイルと同じ名称になります。  
フォルダ名を変えたい場合は、フォルダを右クリック→「名前の変更」で変更してください。

## 履歴の閲覧

1 P3～P4「履歴の変換」で自動的に作成されたフォルダをダブルクリック（または右クリック→開く）で、変換された履歴フォルダが確認できます。



フォルダ名は、履歴データの年月を示しています。  
例：201205 = 2012年05月・201206 = 2012年06月

2 閲覧したい年月のフォルダをダブルクリック（または右クリック→開く）をおこなうと、下図が展開されます。テキストファイルをダブルクリック（または右クリック→開く）してください。



3 お手持ちのパソコンに標準で搭載されているメモ帳やワードパッドで履歴が表示されます。



### 履歴の内容

#### 履歴件数

抽出された履歴の総数を表示  
※( )内は表示履歴の数

#### P

写真を撮る設定の場合、その履歴に写真があれば@が表示  
※FIDのみ

#### Date

年月日時分秒

#### ID

登録時設定のUSER ID

#### Name

登録時設定の名前

### ⚠️ ご注意ください!

弊社が提供するソフトウェアは、履歴を閲覧するものではありません。

顔認証システムに保存された履歴データは一部のデータが暗号化されており、そのままでは金庫の履歴として適切ではありません。  
この生データを金庫の使用履歴として適切な状態に変換 (convert) するためのソフトウェアが弊社の提供する「F-LogConv」です。

この取扱説明書に従って変換した履歴を閲覧するためには、Windows に標準搭載された拡張子.txt を表示できる「ワードパッド」や「メモ帳」が必要となりますのでご注意ください。

弊社では、閲覧用ソフトウェアの配布や、使い方のお問い合わせに対する回答はできませんので、あらかじめご了承ください。